

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 502

事務事業名	学校経営研究事業	
基本目標	010202	人を育むまち
政策		豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		小・中学校教育の充実
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	学校教育課		
課長名	丹野平三	内線	365
担当者名	石司貴弘	内線	364

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計		
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	02	事務局費	
事業コード	150000	学校経営研究事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	市内小中学校全児童生徒及び全職員		
意図	児童生徒の生活の充実及び向上、さらに各教科等で学んで得た基礎的基本的な力を生かし、問題解決の学習を行う児童生徒の育成を図る。また、各学校が研究テーマに沿って計画的・継続的に研究を進めることにより、教職員の指導技術及び資質の向上を図る。		
事業概要	学級経営・指定研究・総合学習・特別活動の4分野について、学校長と委託契約を結び、学校の実状に合わせた特色ある学校経営の推進を図る。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法
根拠法令、要綱等	直営、委託		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 児童生徒数	計画値	9,229	9,254	9,203	9,156	
		実績値	9,229	9,254	9,203		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	① 研究会の実施校数	計画値	7	13	13	13	
		実績値	7	12	13		
		達成度	%	100.0%	92.3%	100.0%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	7,082	7,082	7,082	7,082	7,082	7,082	7,082	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	7,082	7,082	7,082	7,082	7,082	7,082	7,082	
② 人件費(千円)	2,384	2,267	2,469	2,182	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.30	0.30	0.35	0.30				
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	9,466	9,349	9,551	9,264				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	事業の継続により、各校においては有効に予算が活用されており、特色ある教育活動を展開する上で各学校が創意工夫して教育実践に取り組むなど、十分な効果を上げている。 また、市教委が研究に積極的にかかわり、学力向上と指導力向上につなげている。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	児童生徒に「生きる力(徳・知・体のバランスのとれた力)」を育むために、地域の特性を生かした体験活動や校外学習等を実施するには、学校の裁量で活用できる財政的支援が必要である。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	義務教育における教育活動の支援を目的とするものであり、全児童生徒に還元でき、市の関与の必要性は高い。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	研究発表校の研究紀要や各校から年度末に提出される報告書の内容から、十分満足できる成果が上がっている。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	各校独自の創意工夫に基づき、教育活動に有効に活用されている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	各学校の現状をふまえ、その特性を生かした特色ある教育活動を展開するために最低限のコストで実施している。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	本事業により、各校で特色ある教育活動が推進されており、このまま継続する必要がある。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等	本市の目指す教育方針に則り、学校の独自性や創意工夫を生かした教育活動を実践するうえで、本事業は重要である。			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。